

# SUMMARY

No021420

今週号では相当に踏み込んだ内容を伝えました。  
強固な数学的原理を活かすには合理性を求める思考を身につけることです。それこそが最大の武器になります。本業・副業を問わず“事業”として取り組んでください。

自分なりの事業のマニュアルを作成してみましょう。  
今週号の最初のレポートに掲げた「理論と実践」のポイントをも一度掲げます。理解の整理と実践のまとめとして振り返って確認してください。

## Theory and Practice

### 理論:

マトリックスの数値/数値構造  
“構造”とは何か  
循環性と連続性  
数値と価値(“数”とは何か)  
「すべてがNになる」  
トライアングルと数値構造  
バリューチェーンの構造(C/S/Pの関係)  
バリューチェーンとマトリックスの関係  
ITVとOTV  
STVとマトリックス及びITV/OTVの関係  
エクスパイアとコンバージョン  
X軸とY軸の関係  
フーリエの定理(時間の関数)  
三角関数とナンバーオペレーション;数値の回転運動  
RSCの原理

### オペレーション:

数値と記号及びハンド  
フロップ→レイズ→フォールド  
ランオフ  
ローテーション  
ハンドテーブル  
ハンドのタイプ:  
10C-P-25C+  
P+P-//C-C+  
C-P-  
etc.  
ハンドの操作:  
レシオ(比率)の調整  
ハンドの組み替え  
レイズの技術

資産規模は同じでも、  
経営者の考えが異なるため  
事業主(proprietor)として  
取り組んで下さい。

“投資家”だった方は、  
“相場”の世界から完全に  
離れて Number  
Operation に移行に  
取り組む必要があります。

← 本稿の「理論と  
実践」のポイントです。